陳情第１４号

新型コロナウイルスの感染爆発対策に関する陳情書

（陳情趣旨）

東京オリンピック開催と軌を一にするように、市内でも新型コロナウイルス感染爆発の拡大するばかりです。８月３日、政府は、「重症患者以外は自宅療養」という方針を示し、大きな反発を呼んでいます。医療体制の逼迫から、入院できずに自宅で亡くなる方までいるという現状は大変遺憾であり、こうした事態を招いた政府そして政治の責任は極めて重大です。

まずは、逼迫した医療体制を立て直すことが喫緊の課題です。そのためには、軽症者でも待たずに入れる臨時の大規模な医療施設を設置し（いわゆる福井方式）、スタッフを配して稼働させることが不可欠です。これらの取り組みは国や県が行うことと聞いていますので、市が政府と千葉県に対して、至急要請してください。

同時に、感染爆発を沈静化させるためには、無症状の感染者の発見・保護を急ぎ、感染伝播の鎖を断ち切ることが重要です。しかし、流山市では、濃厚接触の疑いを自覚しても、保健所や市のコロナ相談専用ダイヤルからの指示がなければ無料のＰＣＲ検査を受けることができません。自覚のない人に至っては、問い合わせることもなく野放図です。誰でも、いつでも、何回でも、無料でＰＣＲ検査が受けられる体制を確立することが急務です。しかし、市独自で大規模な検査体制を確立するには相当の予算が必要になると思います。そこで、国に対してこれらを実施するための交付金を要求することを求めます。

（陳情項目）

１　軽症の感染者でも待たずに入れる臨時の大規模な医療施設を設置するよう、政府および千葉県に要請すること

２　無症状者に対するＰＣＲ検査を「誰でも、いつでも、何回でも、無料で受けられる」市独自の大規模な検査体制を確立するため、国に対して相当の交付金を要求すること

令和３年８月２３日

陳情者

[redacted]

流山市議会議長　森　亮二　様